



日加大学協働・  
世界市民リーダーズ  
育成プログラム

Canada-Japan Collaborative Program for  
Educating World Citizens as Future Leaders

# CROSS- CULTURAL COLLEGE

関西学院大学  
国際教育・協力センター  
クロス・カルチュラル・カレッジ事務局  
Kwansei Gakuin University  
Center for International Education and Cooperation (CIEC)  
Office of the Cross-Cultural College  
ccc-office@kwansei.ac.jp  
TEL.0798-54-6046 URL.https://ciec.kwansei.ac.jp/

CCCで憧れの  
キャリアを実現しよう!



# BE A LEADER OF WORLD CITIZENS

クロス・カルチュラル・カレッジとは

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム

## Cross-Cultural College

特徴

カナダの学生と「協働」で学ぶ

多国籍な場面で活躍できる実践的な能力を養う

英語オンリーで学べる関学を代表するトップクラスのプログラム

Cross-Cultural College (CCC)とは、関西学院大学とカナダの4大学(下記参照)が協働で運営するバーチャル・カレッジです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

### カナダの参加大学



ウエスタン/キングズ大学  
King's University College  
at Western University

きめ細やかな少人数教育により、カナダ国内や海外から評価されている小規模リベラルアーツ大学。



マウント・アリソン大学  
Mount Allison University

リベラルアーツ大学の中で長年カナダNo.1に選ばれている。



クイーンズ大学  
Queen's University

ダイバーシティ豊かな質の高い教育・研究で、カナダ国内はもちろん世界的にも高く評価されている。



トロント大学  
University of Toronto

教育・研究業績で世界的に高い評価を受けている大規模総合大学。

### CCCがめざす世界市民リーダー像

- 1 多文化共生や社会の持続的な発展への貢献に必要な基礎知識を持ち、現在グローバル社会が直面している課題を幅広く理解している。
- 2 カナダと日本に共通する課題について、文化的・社会的背景を含めて多角的な視点で把握し、その解決に向けた具体的な方策を提起することができる。

- 3 異文化コミュニケーション能力(実践的な英語運用能力を含む)を有し、他国の人たちの考えを理解し、かつ自分の考えも的確に表現できる。
- 4 異なる文化や社会に関心を持ち、異なる背景を持つ人々の価値観を理解・尊重しながらチームで協働できる能力を身につけている。
- 5 実際に他国の人々と共通の目標のもとで協働する体験を通じて、グローバル社会において活動する自信と意欲を持っている。

2つの学外アワードを受賞している関学唯一のプログラム!

Global Internship in Japan

第7回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード  
「文部科学大臣賞」受賞!

Certificate Program

第2回オープンバッジ大賞  
「優秀賞」受賞!

## WHY CANADA?

- 1 100年以上続く関学とカナダの歴史。  
カナダの大学との強固なパートナーシップを持つ関学だからこそ実現できるユニークなプログラム!
- 2 関学のスクールモットー“Mastery for Service”を提唱したC.J.L.ベーツ第4代院長もカナダ・メソジスト教会からの宣教師。
- 3 代表的な多文化社会カナダの学生との協働学習は、多国籍な環境を体感するのに最適!

## MESSAGE

Practical experience will nurture the ability to act globally.

グローバル社会の持続的な発展・成長を実現できるのは、どのような人なのでしょうか? 関西学院大学では海外進出に積極的な企業約70社を対象に調査を行い、英語などの外国語の運用能力はもちろんのこと、優れた問題発見能力と解決能力のある人、そして文化の壁を乗り越え、多国籍な場所で一緒に行動できる人という結論に達しました。そこでCCCでは、日本とカナダの学生と一緒に課題を発見し、解決策を立案・実行する実践的な科目を中核に設置しています。また、インターンシップをはじめとして産業界と連携した科目も多く開講し、将来国際的な場で活躍する際に必須となる能力を養うプログラムを提供します。本学の学生とカナダの学生が交流する素晴らしい機会でもありますので、ぜひ多くの学生に挑戦してほしいと考えています。



矢頭 典枝 教授

Norie Yazu

CCCカレッジ長  
CCCチーフアカデミックディレクター  
関西学院大学 国際教育・協力センター教授  
日本カナダ学会会長



## CONTENTS

- 01-02 **BE A LEADER OF WORLD CITIZENS**  
クロス・カルチュラル・カレッジとは
- 03-04 **CERTIFICATE PROGRAM**
- 05-06 **MOBILITY PROGRAMS**  
CCC Global Career Seminar in Japan / Canada  
CCC Global Internship in Japan  
CCC Field Study in Canadian Business
- 07 **CCC FOR YOUR FUTURE CAREER**  
CCCとキャリア
- 08 **COMMENTS FROM PARTICIPATING STUDENTS**  
参加学生からのコメント
- 09-10 **CERTIFICATE PROGRAM**  
対象科目一覧

# CERTIFICATE PROGRAM

CCCでは、日本とカナダの学生が共に学ぶ「Certificate Program (CP)」を提供しています

Certificate Program (CP)とは、関学生とカナダの4大学の学生を対象に提供する「修了証プログラム」で、両国の学生が協力して、企業等から与えられるビジネス課題に対し解決策を立案する実践的な科目を中心に学びます。使用言語は全て英語で、所定の16単位とTOEIC®820点相当以上の英語能力を修得した学生に、日加5大学が運営するCCCから修了証ならびにオープンバッジを授与します。

CCC参加学生の声やプログラムの様子はこちら！



このような学生にオススメです！

- ✓ グローバル社会で活かせる実践力を身につけたい
- ✓ これまでに身につけてきた英語力を維持、向上させたい
- ✓ 英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- ✓ 早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい

## オープンバッジとは？

- 取得した資格や学習内容を目に見える形にできる、知識・スキル・経験のデジタル証明。
- 履歴書やメール署名などでオープンバッジを使えば、他の学生とは一味違った方法で、国際的に活躍できるグローバル人材であることを証明できる！
- SNSでちょっとしたアピールにも活用できる！「いいね！」をもらおうきっかけに。



**活用例**

第2回 オープンバッジ大賞「優秀賞」(教育機関部門)受賞

▲ CV

▲ SNS

▲ E-mail

▲ 履歴書

## ■ 主なスケジュール | 夏休みおよび春休みのプログラムは以下の通り実施されます。計画的に参加しよう！

4月 APRIL	● 募集説明会 ● 8月プログラム出願・選考	10月 OCTOBER	● 募集説明会 ● 2月プログラム出願・選考・参加者決定
5月 MAY	● 参加者決定	11月 NOVEMBER	
6月 JUNE	● 8月プログラム事前講義(オンライン) ※回数・日程は説明会で案内	12月 DECEMBER	● 2月プログラム事前講義(オンライン) ※回数・日程は説明会で案内
7月 JULY		1月 JANUARY	
8月 AUGUST	Global Career Seminar in Japan Global Internship in Japan	2月 FEBRUARY	Field Study in Canadian Business Global Career Seminar in Canada
9月 SEPTEMBER		3月 MARCH	

※募集説明会および出願等の詳細については「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照してください。



# CERTIFICATE PROGRAM [CP]

## CP登録要件

TOEIC®680点(または、TOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級、DET105点)以上の英語能力を有している学部生

CCCに、Duolingo English Test(DET)を導入！

※要件を満たしていればいつでも登録可。  
※学部1年生から登録できます。

## DETのおすすめポイント

- オンライン受験可能: いつでも自宅から受験でき、試験会場への移動不要
- 低コスト: 他試験に比べて受験料が安価(70USD)
- スピード: 結果は通常48時間以内に取得可能

今までより、CPIに登録しやすくなりました！  
詳しい受験方法は、DETの公式ウェブサイトをご確認ください。



オススメ! Pick up 科目

CCC Introduction to Multicultural Studies  
通常学期および秋学期集中で開講

## CP必要単位(計16単位)の内訳

### 選択必修科目

<b>選択必修①</b> 英語で多文化共生論を学ぶ科目 2単位	+	<b>選択必修②</b> 英語で国際関係論を学ぶ科目 2単位	+	<b>選択必修③</b> ▶ P.5~6 カナダ側学生と協働して学ぶ科目(コア科目) 3単位
---------------------------------------	---	--------------------------------------	---	---

オススメ! Pick up 科目

CCC Introduction to International Relations  
通常学期および秋学期集中で開講

## オススメ! Pick up プログラム | P.6

CCC Field Study in Canadian Business  
関学生同士のペアで行う10日間のインターンシッププログラム

## オススメ! Pick up プログラム | P.7

カナダから来日する先生からカナダについて学ぶ授業  
● Topics in Canadian Studies A, B(春学期) ● Topics in Canadian Studies C, D(秋学期)

### 選択科目

<b>選択①</b> 英語でCCCの理念に合致する内容を学ぶ科目 9単位
--

CP登録・修了の手続きはこちら



## CP修了のコツ

- 英語中期留学トロント大学参加者は、留学先で履修できる「カナダ研究」を選択必修1に算入できます。
- 交換留学先で修得した単位をCP対象科目として認定できる場合があります。
- 春・秋学期の集中講義も用意しているため、効率的に履修を進めることができます。

## 修了証プログラムを通してビジネスの場で役立つ実践的な能力を身につけよう！

- 国際ビジネスに関する知識、問題解決能力
- 異文化対応力や多様性の尊重
- 多文化の環境におけるチームワーク

## CP修了要件

- ① 定められた科目群の中からあわせて16単位を修得
- ② TOEIC®820点(またはTOEFL ITP®580点、TOEFL iBT®92点、IELTS(アカデミック)6.5点、英検1級、DET120点)以上の英語能力を修得

## MOBILITY PROGRAMS

Mobility Programsとは、日加学生もしくは関学生同士がペアやグループとなり、企業等から与えられる課題の解決に向けて協働で取り組むプログラムです。

いずれもCertificate Programの対象科目です。

### 出願資格

※下記条件をすべて満たす者

学部2年生以上(大学院生を除く)

TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級、DET105点)以上のスコアを有する者

事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者  
※事前講義は学期期間中に複数回実施します。



### CCC Global Career Seminar in Japan / Canada

日加の学生がグループで行う企画立案型セミナー

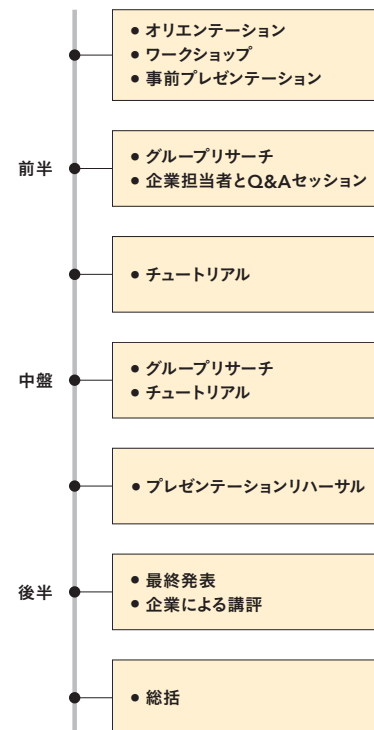
日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から提示された国際展開等に関する課題について、その解決策を立案するプログラム。プログラム開始前には、オンライン講義を通じて日加のビジネスに対する理解を深め、カナダ側学生とのディスカッションに備えます。プログラム前半では、企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々に会い、直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決案を導き出し、最終的に企業・団体等の担当者に対してプレゼンテーションを行い講評を得ます。普段なかなか会うことのできない企業・団体等の方々の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場での合意形成を体感します。日本で開講するプログラムでは、カナダ側学生に日本文化を伝えるアクティビティ等も行います。

※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

<b>実施期間</b>	[日本実施] 8月上旬(約1週間) [カナダ実施] 2月中旬(約1週間)
<b>実施場所</b>	[夏季] 西宮上ヶ原キャンパス [春季] カナダ・トロント大学
<b>単位</b>	グローバルスタディーズ科目 「CCC Global Career Seminar in Japan」(3単位) CP対象 選択必修 3 「CCC Global Career Seminar in Canada」(3単位)
<b>協力企業・団体(過去実績)</b>	[日本] カナダ大使館、シュナイダーエレクトリックホールディングス、大和製衡、ガルーダインドネシア航空、Air Canada 他 [カナダ] Ernst & Young、Kubota Canada、Yamaha Canada Music 他
CCC Global Career Seminar in Japan / Canadaの様子はこちら	

### プログラムスケジュール

※変更の可能性がります



### CCC Global Internship in Japan

日加の学生がペアで行う課題解決型インターンシップ



CCC Global Internship in Japanは、産業界(企業)と国公立大学との間で合意された要件(一部を除く)を満たす、質の高いインターンシッププログラムです。詳しくはシラバスの備考欄を参照してください。

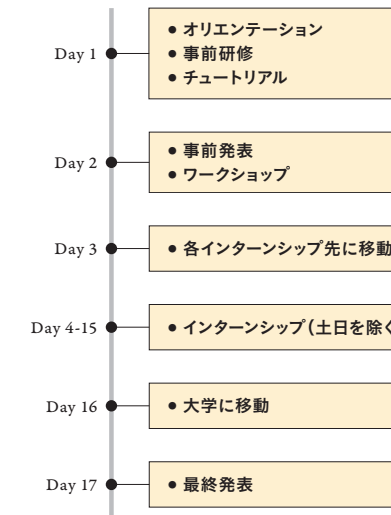
日加の学生がペアを組み、互いが助け合いながら国際的な事業を展開している企業・団体等で10営業日間の課題解決型のインターンシップ(就業体験)を行うプログラムです。異なるバックグラウンドを持つ同士がペアになることで、それぞれの独自性を尊重しながら一つの目的に向けて協働することを体感できます。事前講義ではインターンシップに必要なビジネスに関する基礎知識を学び、事後講義ではプレゼンテーションを通じて各インターンシップ先での学びを学生全体で共有し、更なる気づきや学びを醸成します。

※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

<b>実施期間</b>	8月下旬(2週間)
<b>実施場所</b>	西宮上ヶ原キャンパス及び各インターンシップ先
<b>単位</b>	グローバルスタディーズ科目「CCC Global Internship in Japan」(3単位) CP対象 選択必修 3
<b>協力企業・団体(過去実績)</b>	JTB、全日本空輸、TOA、日本イーライリリー、三恵メリヤス、Innovation Dojo Japan、東邦インターナショナル、LAMPS 他
CCC Global Internship in Japanの様子はこちら	

### プログラムスケジュール

※変更の可能性がります



### CCC Field Study in Canadian Business

関学生同士のペアで行う、10日間の課題解決型インターンシップ

関西学院大学の学生でペアを組み、カナダ・トロントにある国際的な事業を展開している企業・団体で10営業日間の課題解決型のインターンシップを行うプログラム。日本国内のインターンシップでは体験できない、多文化社会であるカナダ特有のビジネス環境における実践的な課題分析・解決を通じて、カナダでのビジネスマネジメントや文化に対する理解、コミュニケーションスキルを修得することができます。プログラム期間中はホームステイでの滞在となります。このプログラムは、Certificate Program (CP)の選択1に該当します。

<b>実施期間</b>	2月上旬(2週間)
<b>実施場所</b>	[カナダ] トロント近郊のインターンシップ先及びトロント大学
<b>単位</b>	グローバルスタディーズ科目「CCC Field Study in Canadian Business」(3単位) CP対象 選択 1
<b>協力企業・団体(過去実績)</b>	Ricoh Canada、Nikkei Voice、国際交流基金、Petals and Prints、Student Homestay Services 他
CCC Field Study in Canadian Business参加学生と協力企業の声はこちら	

### プログラムスケジュール

※変更の可能性がります



各プログラムの最新情報は、国際教育・協力センター(CIEC)ウェブサイトにてご確認ください。



## CCC FOR YOUR FUTURE CAREER

### CCCとキャリア

CCCでは、カナダの学生と協働で取り組むプログラムを提供しています。また、個々のプログラムへの参加だけでなく、4年間を通してCertificate Program (CP)に取り組むことで、英語力はもちろん、国際的な場における実践力を養うことができます。これまで、CCCに参加した多くの先輩達が在学中のCCCの経験を活かし、グローバルに活躍できる就職や進学を実現しました。皆さんもぜひCCCに挑戦し、大学での4年間の学びを充実させてください。

#### ■ 4年生からのコメント

**Q CCCでの経験はどのように自身の強みになりましたか?**

Global Career Seminarに参加して、自分がグループの中でどういう立ち位置の間柄がよくなり、それは就職活動時の自己分析に役立ちました。

**Q 就職活動で企業の方が注目してくれた活動はありましたか?**

チームの意見を聞き入れ組織構築に活かす力や海外の人とのコミュニケーション能力等を具体的なエピソードを交えて話すことができ、高く評価してもらえました。

**Q CCCでの経験がどのように就活・内定につながりましたか?**

CCCの経験は、自分のリーダー経験と、自分の志向性を示す根拠の一つとして、面接で活かすことができました。Global Career Seminar in Japanで外国人学生チームのメンバーを牽引した経験は、グローバルな環境でのリーダーシップを示す貴重な経験となりました。また、外国人学生との協働経験は「海外で働きたい」と考える私の志向性を補完する根拠ともなり、面接でも一貫性を持たせられ、アピールに繋がりました。

#### CPを修了した先輩の就職先一例

- 日本IBM
- LION
- P&Gジャパン
- TOTO
- ユニ・チャーム
- 日本航空
- パナソニックホールディングス
- 神戸市役所
- 日本貿易振興機構(ジェトロ)
- アクセンチュア
- 全日本空輸
- 楽天グループ
- KDDI
- 三井住友信託銀行
- 中部国際空港



Global Career Seminarで企業担当者から情報収集



Certificate Program修了証書授与

#### ■ 4年間のCP取り組み例

##### 1年次

###### CP登録・スタート

###### 選択必修 1

CCC Introduction to Multicultural Studies (2単位)

###### 選択必修 2

CCC Introduction to International Relations (2単位)

##### 2年次

###### 選択 1

International Management 1 (2単位)

International Relations of Japan (2単位)

・Topics in Canadian Studies A/B(春学期)

または・Topics in Canadian Studies C/D(秋学期)

#### カナダから来日する先生からカナダについて学ぶ授業 英語開講

##### “Let’s learn about Canada in English!”

毎年、本学では春学期と秋学期にカナダの大学から教員を招へいて、カナダについて多角的に学べる授業を開講しています。カナダへの留学を検討している方に履修を強く推奨します!

▶ Jason Dean先生 (2026年度春学期)

・Topics in Canadian Studies A  
(カナダのビジネス文化)

・Topics in Canadian Studies B  
(カナダ経済の歴史と現在:日本との比較を中心に)



▶ Jennifer Hosek先生 (2026年度秋学期)

・Topics in Canadian Studies C  
(短編映画と文学から学ぶカナダ文化)

・Topics in Canadian Studies D  
(映画とドキュメンタリーから学ぶカナダのビジネスと社会)



##### 3年次

###### 選択必修 3

CCC Global Career Seminar in Japan (3単位) または  
CCC Global Internship in Japan (3単位)

###### 選択 1

総合日本学習科目 (2単位)

US Economy (2単位)

TOEIC® 830点取得

CP修了!  
修了証書とオープンバッジをゲット!



##### 4年次

CPオープンバッジを就活や進学で活用

1年次からのスタートがおすすめ!

セットでの参加もおすすめ!  
その場合は3単位を選択1に割り当てることができます

## COMMENTS FROM PARTICIPATING STUDENTS

### 参加学生からのコメント

#### CCC Global Career Seminar in Canada/ CCC Field Study in Canadian Business

社会学部 谷野紗良  
参加時期:3年

3週間という期間で、カナダにおける多様な出会いから、大きな成長と達成感を得られることが最大の魅力です。交換留学を終えた後、英語を使ったさらなる挑戦をしたいという思いで参加しました。英語使用が前提にあるため、相手を理解すると同時に、受け身にならず自分の考えを「伝わるまで伝えること」が大切だと学びました。



GCSCでは、エア・カナダにおけるトロント-大阪の乗客数を増やす施策を考えました。多国籍チームの中で意見が分かれる場面もありましたが、相手の考えを丁寧に聞き出し、自身の見解を積極的に発信することで、全員が納得できるアイデアにまとめることができました。FSCBでは、英語で新聞記事の執筆業務を担当しました。現地の読者にどうしたらニュースまで伝わるのか、相手の視点を理解した表現になるように編集長と議論を重ねました。こうした経験を通して、異文化環境でこそ「相手の立場を考えながら伝える力」が、より強く育まれるのだと実感しました。

また、本プログラムをはじめとするCP(Certificate Program)への取り組みは、履修科目の選択肢を広げ、自然と多角的な視点を身に付けるきっかけになりました。こうして培った視点は、将来、国際的なフィールドにて活躍するうえで、



他者への深い理解につながると感じます。挑戦の先にある仲間と分かち合う達成感や、自己成長といった一生忘れない経験をすることができました。

#### CCC Global Career Seminar in Japan/ CCC Global Internship in Japan

総合政策学部 山田紘生  
参加時期:4年



CCCプログラムでは、語学として英語を学ぶのではなく、修了要件の中で自然と英語を使う環境に身を置くこととなります。英語開講科目やインターンシップ、キャリアセミナーなど実践的な場が多く、英語を手段として運用しながら、そこで何ができるかが問われる点が大きな特徴です。つまり、英語+αの力が求められるということです。また、修了証やオープンバッジによって、その成果が可視化される点も魅力の一つです。キャリアセミナーやインターンシップでは、ネイティブの英語に圧倒される場面もありましたが、その中で、拙い英語でも一生懸命に伝えようとする姿勢の大切さを実感しました。そうした姿勢でチームの議論に向き合い続けた結果、最終的には印象に残る発表をやり遂げ、大きな達成感を得ることができました。出席された企業の方や、教授からお褒めの言葉をいただいたことは良い思い出です。

社会に出れば、英語力だけでなく、異文化理解力や問題発見・解決能力、多角的な視点、協調性といった力も求められます。そういった意味で、英語とそれ以外の力を同時に養える本プログラムは、一石二鳥だと言えます。CCCを通じて英語



+αを磨き、世界市民として大きく羽ばたく一歩を踏み出すことができると感じています。

# CERTIFICATE PROGRAM

## 対象科目一覧

\*印は2026年度不開講  
(2026年度版)

各科目を履修する際は、必ずシラバスを確認してください。

必要単位	開講科目(単位)		
	履修基準年度		
	1年	2年	3・4年
選択必修1	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
	☆CCC Introduction to Multicultural Studies (2)	カナダ研究トロント大学 (3) カナダ研究マウント・アリソン大学 (3)* このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で 国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
	言語教育研究センター開講科目		
	Multicultural Collaboration in English (2)		
2	教育学部		
	異文化理解(2)	異文化コミュニケーション(2)(2021年度以降入学生のみ履修可)	
	総合政策学部		
		Culture and Thought (2)	多言語多文化論(2) 多文化社会論(2) Multilingualism and Multiculturalism (2) Studies in Multicultural Society (2)
2	国際学部		
		Bilingualism(2) Contemporary Multicultural Societies (2)* Intercultural Relations (2)* Religion and Society in the Contemporary World (2) Topics in International Politics B(2)	
	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
	☆CCC Introduction to International Relations (2)	このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で 国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
2	総合政策学部		
		International Trade (2) 国際貿易論(2)	
	人間福祉学部		
		グローバル化社会と福祉(2)	
3	国際学部		
	Introduction to International History (2) Introduction to International Law (2) Introduction to International Relations (2)	Development Economics (2) Global Governance (2) International Conflicts (2) International Relations in Europe (2) Topics in International Politics A(2)	
	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
		☆CCC Global Career Seminar in Canada (3) ☆CCC Global Career Seminar in Japan (3) ☆CCC Global Internship in Japan (3) ☆CCC Global Internship in Canada (3)* ☆CCC Joint Seminar in Canada (3)* ☆CCC Joint Seminar in Japan (3)*	
9	言語教育研究センター開講科目		
	Culture and Society(2)		
	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
	☆Topics in Canadian Studies A (2) ☆Topics in Canadian Studies B (2) ☆Topics in Canadian Studies C (2) ☆Topics in Canadian Studies D (2) ☆総合日本語習科目	☆CCC Field Study in Canadian Business (3) このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で 国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
9	経済学部		
		Japanese and Asian Economies A (2)* US Economy (2) US Innovation System (2)* Topics in Economics (in English) A (2) Topics in Economics (in English) B (2) 経済学トピックスF (2017) (2)* Japanese and Asian Economies B (2)* Topics in Economics (in English) C (2)* Topics in Economics (in English) D (2)* Topics in Economics (in English) E (2)* Topics in Economics (in English) F (2)* Topics in Economics (in English) G (2)* Topics in Economics (in English) H (2)* Topics in Economics (in English) I (2)* Topics in Economics (in English) J (2)*	

\*印は2026年度不開講  
(2026年度版)

必要単位	開講科目(単位)		
	履修基準年度		
	1年	2年	3・4年
9	総合政策学部		
	コミュニケーション総論(2) Introduction to Communication (2)	異文化間コミュニケーション論(2) エコロジー政策(2) 比較文化論(2) Comparative Culture (2) Ecological Policy (2) Intercultural Communication (2)	地域開発論(2)* 地球環境政策(2) 比較社会論(2)* 非政府組織論(2)* Comparative Studies on Societies (2)* Global Environmental Policy (2) N.G.O. (2)* Regional Development (2)* 国際環境政策(2)** International Environmental Policy (2)** 文化とグローバリゼーション(2)**
	教育学部		
			英語科教育特論(2) (2021年度以降入学生のみ履修可)
9	国際学部		
	Business Ethics (2) Changing Images of Women (2) Chinese Culture and History (2)* Christianity A (2) Christianity B (2) Contemporary Korean Studies (2)* Government and Politics in Japan A (2) Government and Politics in Japan B (2) International Relations of East Asia (3) International Security (2) Introduction to ASEAN: Society, Economy and Politics A (2)* Society, Economy and Politics B (2)* Innovation and Intrapreneurship (2) Introduction to Japanese Culture (2) Introductory Japanese Finance (2) Introduction to Japanese Literature (2) Introduction to Political Science (2) Japan-China Relations (2) Japanese Art A (2) Japanese Art B (2)* Japanese Business A (2) Japanese Business B (2) Japanese Cinema (2) Japanese Economy (2) Japanese Economy and Business (3) Japanese History A (2) Japanese History B (2) Japanese Legal System (2) Japanese Linguistics (2) Japanese Outlaws (2)* Japanese Phonetics and Phonology (2)* Japanese Politics and Diplomacy (2) Japanese Pop Culture A (2) Japanese Pop Culture B (2) Japanese Psychology A (2) Japanese Psychology B (2) Japanese Society (2) Japan's Foreign Relations (2) Language and Culture in Japan A (2) Language and Culture in Japan B (2) Management A (2) Management B (2) Marketing in Japan (2)* Minorities in Japanese Society (2) Political Economy of Japan (2) Postwar Japanese Diplomatic History (2) Postwar Japanese Political History (2) Prewar Japanese Diplomatic History (2) Prewar Japanese Political History (2) Religious and traditional Rites (2) The Chinese in Modern Japan (2) Traditional Japanese Arts (2)* Traditional Japanese Theatre (2)	American Society (2) Asia-Pacific Relations (2) Asian Innovation System (2)** Canadian Economy (2)* Canadian Foreign Policy (2)** Chinese Economy (2)* Climate Justice (2) Contemporary Chinese Society and Culture (2) Contemporary Japanese Society and Culture (2) Corporate Governance and Industrial Relations in International Perspective (2)* Cultures in the USA (2) Economic History of the European Union (2) Economic History of the European Union (2) (duplicate as in original) Environmental Governance in the European Union (2) European Economies (2) European Innovation System (2)** Foreign Policy Analysis (2) Global Seminar in South Asia A (2)* Global Seminar in South Asia B (2)* Human Resource Management in the USA (2) Industrial Policy in the EU (2)* International Accounting (2) International Finance and Asia-Pacific (2) International Management (2) International Relations in ASEAN (2)* International Relations of Japan (2) International Trade and Asia-Pacific (2) Introduction to Documentary Film Studies (2)* Introduction to European Economic History (2) Japanese and Asian Economies A (2)* Japanese and Asian Economies B (2)* Japanese Corporate Governance (2) Japanese Financial Practices (2) Japanese Religion (2) Japan's Emigration Policy and Japanese Immigration (2)* Management in Japan (2)** Management in North America (2)** Marketing in the USA (2)** Regional Policy in the EU (2)* Sociology of Cultures in Transition (2)* The EU Economy (2) The European Union: History, Politics & Economy (2) The Media Culture in North America (2)* Theories and Debates in the Studies of International Relations (2)* US Economy (2) US Foreign Policy (2) US Innovation System (2)** US-Japan Relations (2)	

- 履修にあたっては、申込手続きが必要となる科目があるので、事前に各開講科目事務室で確認してください。
- 所属学部の開講科目が自身の入学年度の教育課程表に記載されていない場合、履修できません。また、各科目の履修の条件は、履修心得等の各学部の履修に関する手引き及び科目提供学部の教育課程表を確認してください。
- ☆の科目は履修申込時にTOEIC®680点以上(TOEFL-PBT®/ITP® 530点、TOEFL-iBT®71点、IELTS 5.5点、英検準1級、DET105点)以上の英語能力の証明書が必要です。
- 選択必修3は、開催国に関わらず、カナダの4大学(ウエスタン/キングス、マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)の学生と「協働」で学ぶ科目群です。科目毎に募集定員が定められています。  
※ただし、カナダ4大学の学生以外に本学に在籍している外国人留学生との協働になる場合があります。
- 選択必修1、選択必修2および選択必修3で修得した単位のうち、所定の単位数を超えた場合は、選択1の単位数に加えることができます。※ただし、1科目の単位を分割することは出来ません。
- \*マークがついている科目は、2026年度不開講の科目です。開講予定は2026年3月時点の情報です。
- \*\*マークがついている科目は、廃止されている科目です。